

2019年度

保育理念 すべての子どもたちを人として尊び、そして今が幸せであり希望あふれる未来を創造する支援を行う

発達過程		I おおむね6ヶ月未満	II おおむね6ヶ月から1歳3ヶ月未満	III おおむね1歳3ヶ月から2歳未満	IV おおむね2歳	V おおむね3歳	VI おおむね4歳	VII おおむね5歳	VIII おおむね6歳
クラス編成		ぶち なずな・たくみん1・小倉台いろは なずな		すずな・ぶち すずな・小倉台いろは すずな		ぶち ききょう・たくみん2・小倉台ききょう		なでしこ 1・小倉台なでしこ1 なでしこ 2・たくみん3・小倉台 なでしこ2 なでしこ 3・小倉台なでしこ3	
保育目標		0歳児 家庭と連携し生活リズムを整える。離乳のすすめ片や食材については保育者と相談し、一緒に進める。 地域の親子が安心して行事や相談に来れるよう地域への働きかけをする。	1歳児 発達が著しい時期なので、成長を共に喜びあったり、子育てに対する不安を受け止め、思いを尊重し方向性を共有する 戸外活動で出会う地域の親子にあいさつしたり、地域の子育て支援の機関としていつでも来園できるような働きかけを行う	2歳児 自己主張や葛藤する経験が増える中で、子育ての大変さや楽しさを共有し、一緒に育てていく姿勢を大切に 地域の子どもたちとの関わりが持てる場を設けたり自己主張や自我の芽生えなどの成長に関する情報	3歳児 集団生活での生活や一人一人の成長を細やかに伝える 地域活動を通して様々な人との関わりが持てる機会を設ける	4歳児 様々な場面で自分で考えやってみようとする姿を家庭と共に受け止めていく 地域活動を通して地域の子ども達が様々な体験活動を経験できる機会をつくる	5歳児 様々な葛藤を乗り越えようとする姿を家庭と共通理解し支えていく。 地域活動を通して地域の様々な人と積極的に関わる	6歳児 就学前の不安や期待などの心の揺れを受け止め家庭と共に見守っていく 地域活動を通して地域や社会とのつながりを大切にする	
配慮	生命の保持	健康や安全に配慮し一人一人の生活リズムを大切に、生理的欲求が十分に活かされるようにする。 保育者との応答的な関わりの中で愛着関係を築く	生理的欲求を満たし、生活リズムが形成されるようにする。 愛情豊かで応答的な関わりのもと安心して自分の思いを表す。	保健的で安全な環境のもと、快適に生活できるようにする。 自分でやりたい出来ない等の葛藤や甘えを受け止めてもらいながら自分を肯定する気持ちを育む	身の回りの事を少しづつ行う中で、健康で安全な生活に必要な習慣を身に着ける 自分の気持ちをあんしんして表現し、周りから主体として受け止められ安定感を持って過ごす	生活習慣が身に付き、自分で出来ることへの喜びを感じ、自ら行動しようとする 周りの友達や保育者に気持ちを受け止められる中で相手を思いやる気持ちが育つ	生活に必要な習慣や態度を身に着け、自信を持って生活する。 情緒が安定した中で自分の気持ちを安心して表し、意欲的に活動する。	健康や安全に必要な基本的な生活習慣や態度が身に付き自主的に行動する。 感情の調整をしながら人との関わりを深め、自己肯定感が育つ	
	情緒の安定								
教育	健康	(健やかに伸び伸びと育つ) 保育士と温かいふれあいの中で、自ら体を動かそうとする意欲が育ち自ら関わろうとする	愛情豊かな受容のもとで生活に必要な習慣に少しづつ気づき、自分でやってみようとする気持ちが育つ	安定感を持って生活し、自ら身体を十分に動かし、自分でやってみようとする気持ちが育つ	保育所における生活リズムが形成される生活に必要な習慣が少しづつ身に付く	基本的な生活習慣が身に付く自ら生活の場を整えようとする	見通しをもって生活をしようとする。 自分の健康に関心を持ち、体を大切にする気持ちが育つ	自信を持って活動したり前向きな見通しをもち生活する(健康な心と体・自立心)	
	人間関係		欲求を適切に満たし、安定感をもって過ごす	自己主張が盛んになり、友だちと気持ちが通じ合ったりぶつかり合う経験をしながら徐々に周りの人と関わる楽しさを味わう	少しづつ相手の気持ちに気づき、様々なルールがある事を知る	友だちと積極的に関わり合いながら友だちと喜びや悲しみ等様々な相手の気持ちに共感する	仲間の一人としての自覚が生まれ生活の中で自分の役割を果たそうとしたり、決まりの大切さを知る	友だちと関わる中で、相手の立場に立って気持ちを調整しながら決まりを守ったり作ったりする(協同性・道徳性)	
	環境	(身近な人と気持ちが通じ合う) 保育者との受容的、応答的な関わりのもとで、愛情や信頼感が芽生え、伝えようとする意欲ははぐくまれる。	見る、聞く、触るなどの経験を通して、感覚の働きを豊かにする。	身近な様々な環境に関わる中で、発見を楽しみ興味の幅を広げる。	身近な物や事象に関心を持ち、興味を持ったものに繰り返し触れる中で好奇心や探究心が増す	身近な環境に親しみ、少しづつ自分から関わり、生活に取り入れようとする	様々な環境に関わる中で、自分で考え、工夫して遊ぶ	身近な事象に関わる中で、物の性質や数量、文字に対する感覚を豊かにする 生命の尊さに気づき大切にする。	
	言葉		保育者等との応答的なやりとりを通して、自ら言葉で表現することを楽しむ	保育者等の言葉を繰り返したり、遊びの中で簡単な言葉の意味を知り、やりとりを楽しむ	経験した事、考えた事を表現し相手の話に親しみをもち聞き取り話したりする	見たり、聞いたり感じたり考えたり等したことを自分なりに表現する	経験したことや考えた事を伝え合い楽しむ。	友だちと関わる中でお互いの意見を聞き、新しい考えを生み出す喜びを味わう	
	表現	(身近なものに関わり感性が育つ) 保育者との応答的な関わりのもと、身近な環境に興味を持ち、欲求や気持ちを安心して表現する	諸感覚を使った経験を豊かにし、様々な感覚を味わう	興味のある事や経験したこと等を生活や遊びの中で自分なりに自由に表現する	感じたことを自由に表現し楽しむ	友だちと一緒に表現する楽しさを味わいながら様々な表現の仕方を楽しむ	様々な素材の特徴や表現の仕方等に気づき感じたこと、考えた事を表現する。	友だちと表現する過程を楽しむ	
食育	食を営む力の基礎	様々な食材を見る、味わう、さわる経験を積む	様々な食材を見て、触って噛んで味わって進んで食べようとする	楽しい雰囲気の中で、自ら食べることを通し、様々な食材に触れ食事に必要な習慣を少しづつ知る	食への興味が広がり、食事にひつような習慣や態度を少しずつ身に着ける	野菜などの栽培を通して、食への関心を深め食と体の繋がりに気づく	栄養と体の関係に興味、関心を持ち食に関わる様々なつながりを知る	食事の意味を理解し、正しい食習慣が身に付く。食への関心を深め、自らの体を大切にする。	
保健		衛生的で安全な環境のもと、一人一人の生活リズムが基盤となり安定して生活する。	人的・物的環境を整え活動量の増加に伴う怪我や事故を防止する	手洗いの仕方や鼻のかみ方などに興味を持ち少しづつ清潔を意識する。	丁寧な手洗いの仕方や衣服の調節を知り、少しづつ自ら行おうとする	衣服の調節や手洗いうがいなどの意味を少しづつ理解し自ら行おうとする。	自分の体の大切さに気づき病気を予防する事に関心を持ち、身の周りの清潔に気をつける	就学前の不安や期待などの心の揺れを受け止め、家庭と共に見守っていく	